

## Hospital 病院クローズアップ

## 国立病院機構

## 東埼玉病院

## 民間病院ではできない疾患を当院で経験し、自身も含めて「人生を考える医療」を行って欲しい

当院はもと結核の病院でした。また、長年にわたり、神経筋疾患、HIV感染症、重症心身障害児(者)の医療を行ってきました。それを支える回復期リハビリテーション、在宅医療やリウマチ、膠原病、呼吸器内科・外科といった専門医療に特化した病院です。

現在はエイズや結核などの感染症を中心とした呼吸器疾患が1つの柱です。2つ目の柱は神経難病や筋ジストロフィー、3つ目の柱は回復期リハビリテーションです。これは元々当院にリハビリテーション病棟があり、近隣の急性期の病院と組み、そこから患者さんを受け入れて回復期の療養を担当しています。障害者のリハビリができる数少ない施設でもあります。4つ目の柱は在宅医療ですが、慢性期からさらに在宅へという流れになっています。当院だけでなく、蓮田市・白岡市・宮代町の2市1町と一緒に在宅医療の推進事業として行う形をとっています。

初期研修についてですが、私は国立国際医療研究センターで研修医教育の責任者を務めていたため、若い研修医が行きたいと思う病院がどういふところかは分かります。ただ、各自の希望を踏まえながら、少しだけでも経験してほしいのが地域医療です。我が国の近未来がここにあります。日本の医療がこれから先、どうなっていくのかが見える場所だと思いますので、短期間でも初期研修医の方が来てくれると非常に勉強になるでしょう。

他方、当院は後期研修医向けの病院であるかもしれませんが、神経内科の専門医を取ってから当院に来る若手の先生も多くいます。なぜかという、筋ジストロ

フィー・神経難病や重心を専門的に学ぼうとすると、大学病院や急性期病院では症例を経験できないからです。当院のような病院に、こういう患者さんがいらっしゃるといふことを知ってほしいですね。

経験した10人中、1人か2人でもこのような病気に興味を持ち、将来、やってみようという先生がいると良いと思います。いろいろな病院で一通り経験した上で当院に来るといいかもしれません。もちろん、在宅医療を学びたいのであれば最初からでも大歓迎です。患者さん全体が診られますし、医療と介護の仕組みが一目で分かる。そういう意味では是非若い先生に来てほしいですし、専門医という意味では特殊な病気を是非経験してほしい。

当院は前院長のころから「人生を考える医療」という言葉を掲げています。その理由は、当院が現状では治らない病気に取り組んでいるからです。前院長がずっと筋ジストロフィーの患者さんを診てきたからこの言葉が生まれたのだと思います。考えてみれば在宅医療も「人生を考える医療」です。どうやって自分らしく最期を迎えるかを含めた方針と一緒に考えることになります。実際、難病患者さんでのノウハウは高齢者の医療にも応用されています。当院がやっていることは、基本的に「人生を考える医療」なんだと感じます。

そして、患者さんの人生を考えると同時に、スタッフも是非、自分たちの人生に向き合いながらやってほしいと願っています。医療者が自分の人生をよく考えて仕事に取り組む環境がここにはあると思います。



## 院長PROFILE

正田 良介 (しょうだ・りょうすけ)

1980年信州大学医学部卒業。

1980年国立病院医療センター（現国立国際医療研究センター病院）内科・消化器科で研修、1987年米国タフツ大学Human Nutrition Research Center on Aging留学。1990年国立病院医療センター復帰後、1993年第一総合外来医長、2004年教育部長・総合外来部長、2010年国立病院機構東埼玉病院副院長を経て、2016年同病院院長に就任。

## 東埼玉病院 DATA

## ■ 所在地

埼玉県蓮田市黒浜4147

<http://esaitama-nho.jp>

## ■ 病床数

532床（一般252床、重心80床、筋ジストロフィー120床、結核80床）

## ■ 診療科目

内科／神経内科／呼吸器科／呼吸器外科／循環器科／アレルギー科／リウマチ科／リハビリテーション科／小児科／外科／整形外科／皮膚科／眼科／耳鼻咽喉科／放射線科／歯科／歯科口腔外科

## ■ 研修の特色

慢性期・回復期の専門医療から在宅医療にいたるまで、幅広い研修ができます。基幹専門研修プログラムは総合診療分野のみですが、総合診療科での在宅医療が特徴で、病棟での診療とシームレスに研修が可能です。チーム診療を行い、バランスの良い経験ができます。また、周囲の介護・福祉・行政関係者との連携などを介して地域医療の全体像を理解しながらの研修ができる実践的なプログラムです。



重症心身障害児(者)のためのスノーズレン室



車椅子利用者が行先階数を指定できるエレベーター



開放感のあるリハビリテーション室



雅楽谷(うたや)遺跡、安行式土器

## 東埼玉病院のある街

## 都心へのアクセスは抜群ながら、自然も残る憩いの街

東埼玉病院のある蓮田市は、埼玉県の北東部にある人口6万人の小さな町で、JR湘南新宿ラインで東京・新宿から約40分と都心からのアクセスが良く、昔からの武蔵野の風景と東京郊外の風景が混在している。また、田園風景の中を走る東北本線の電車を撮影するスポットが有名で、近隣の大宮にある鉄道博物館は興味のある人には外せない聖地のようになっている。

蓮田市には縄文時代の遺跡が数多く存在し、東埼玉病院内にも、関東で最大級の環状盛土遺構という多量の土砂をドーナツ状に盛り上げたもの(縄文後期・晩期)があり、縄文式土器も大

量に出土している。

市の中心部に流れる元荒川は、春には桜が咲き誇り、秋には周辺でコスモスが楽しめる。周辺の休耕田や湿地には湿性植物が生息し、120種にも及ぶ鳥類が確認されている黒浜沼があり、散策やバードウォッチングを楽しめる。

観光も生活も医療も東京の周辺の一部となっているが、東京から異動してこの場所で働く、普通の野菜や果物(特に梨)などの食べ物がとてもおいしいことなど、何も特別なことがないことがとても大切な場所を感じる。

